

行田市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書

【速報版（概要）】

資料 1

I 調査の概要

（１）目 的

第二期行田市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたって、市民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見等を把握するため、ニーズ調査を実施しました。

（２）調査期間

平成 30 年 12 月 28 日（金）～ 平成 31 年 1 月 16 日（水）

（３）調査対象者

行田市内にお住まいで、未就学児又は小学 1 年生から小学 3 年生までの小学生のお子さんを持つ保護者の方を対象に調査を実施しました。

（４）配布数及び回収数

	配布数	回収数	回収率	<参考>前回
就学前調査	1,600 件	975 件	61.0%	48.6%
小学生調査	1,000 件	659 件	65.9%	71.3%
計	2,600 件	1,634 件	62.8%	

（５）報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（％）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が 100％にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示しています。したがって、合計値は 100％にならない場合もあります。

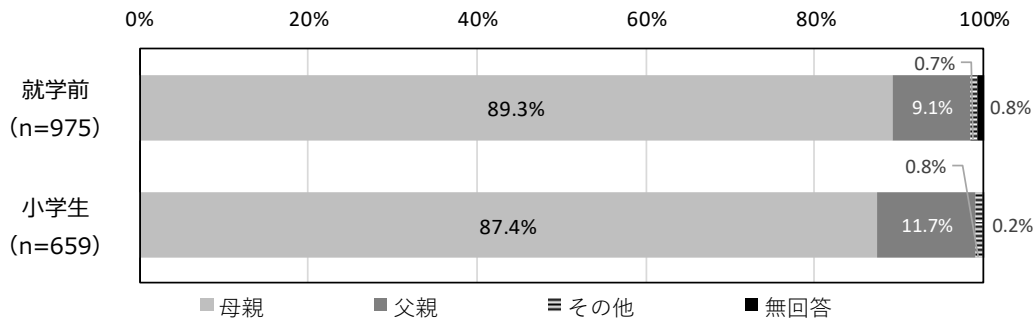
Ⅱ 調査結果概要

(1) ご家族の状況について

① アンケートの回答者について (SA)

【就学前：問4、小学生：問4】

アンケートの回答者については、就学前、小学生ともに「母親」が9割近くと大半を占めています。

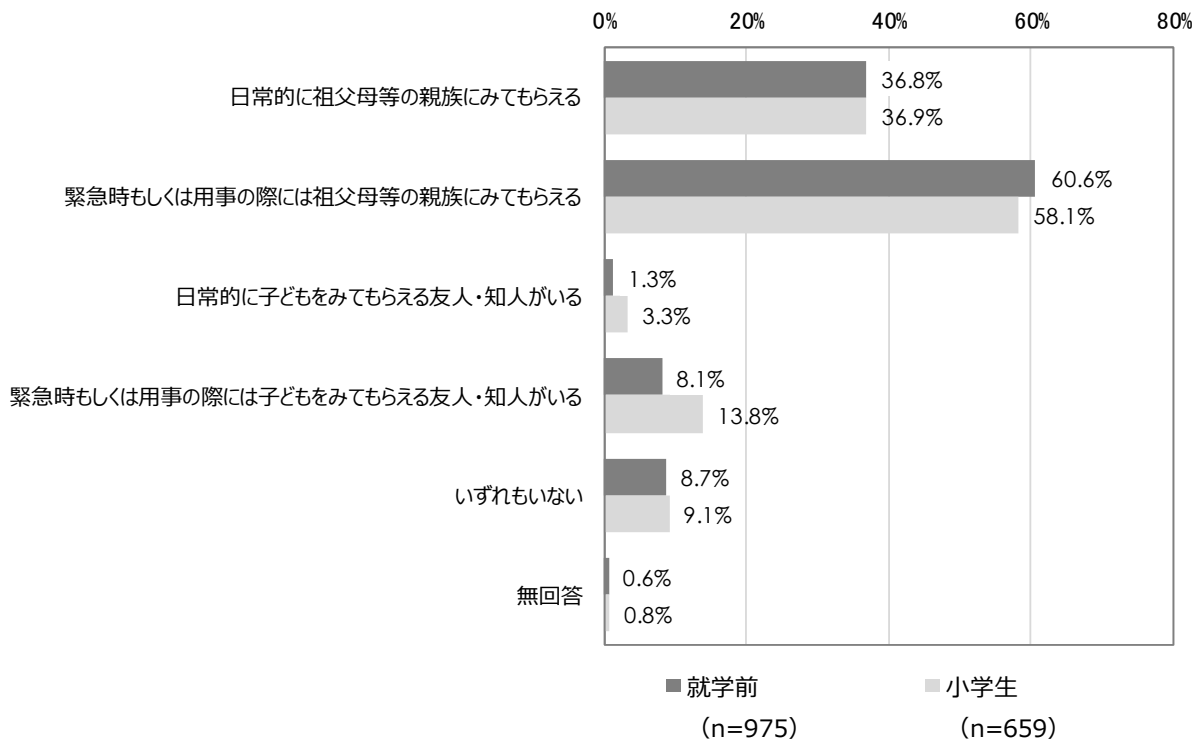


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

① 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の状況 (MA)

【就学前：問9、小学生：問9】

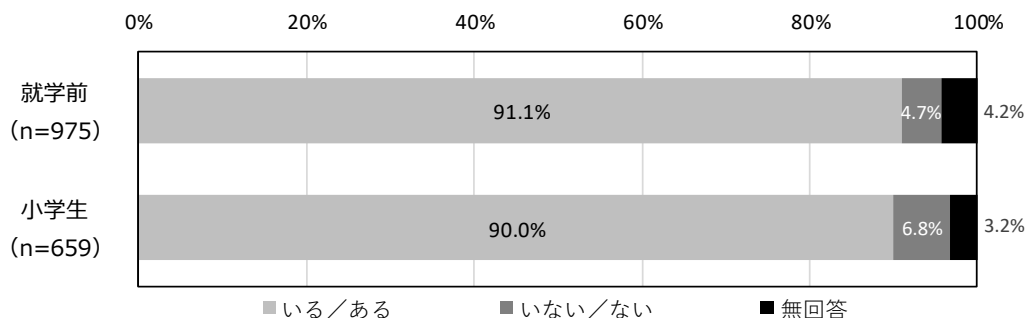
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が、就学前では60.6%、小学生では58.1%とともに最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前が36.8%、小学生が36.9%となっています。



② 子育てをする上で気軽に相談できる人の有無・知人の状況（SA）

【就学前：問 10、小学生：問 10】

気軽に相談できる人・場所の有無については、就学前、小学生ともに「いる・ある」が9割を超えています。また、「いない・ない」は、就学前が 4.7%に対して小学生は 6.8%と、やや高くなっています。



（３）保護者の就労状況

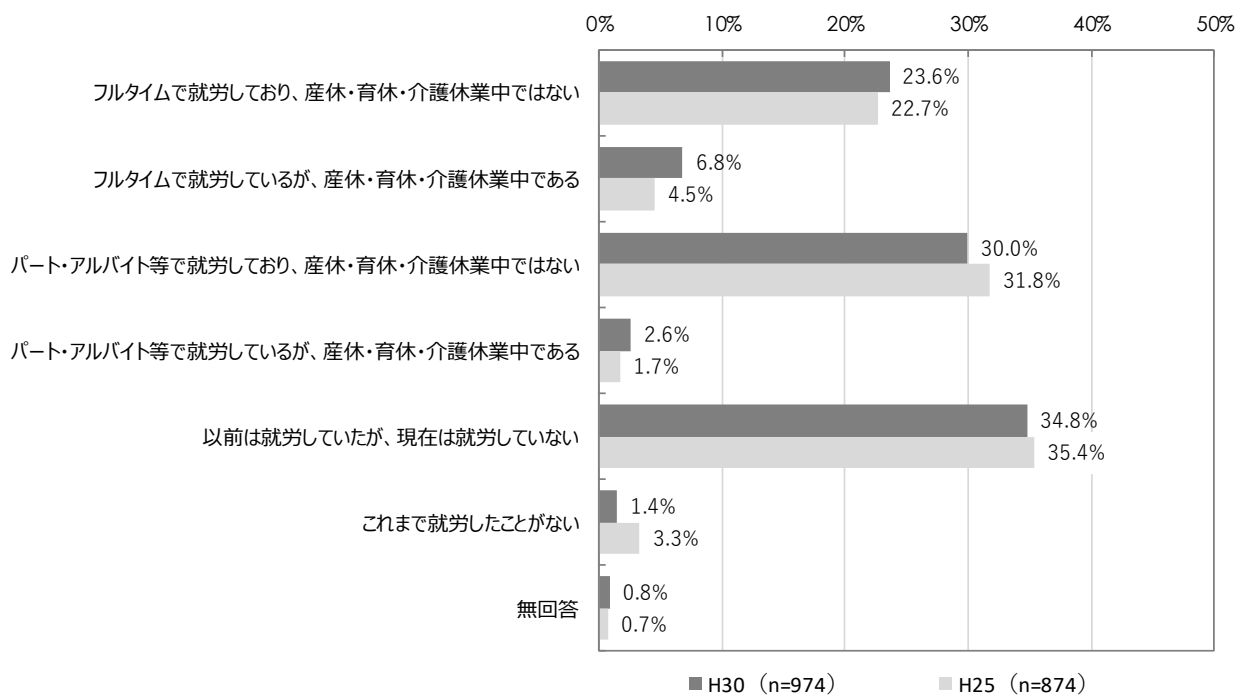
① 母親の就労状況について（SA）

【就学前児童：問 12、小学生：問 12】

就学前の母親の就労状況については、産休中なども合わせた「フルタイムで就労」が 30.4%、「パート・アルバイト等で就労」が 32.6%で、合わせると就労している人は 63.0%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせると 36.2%となっています。

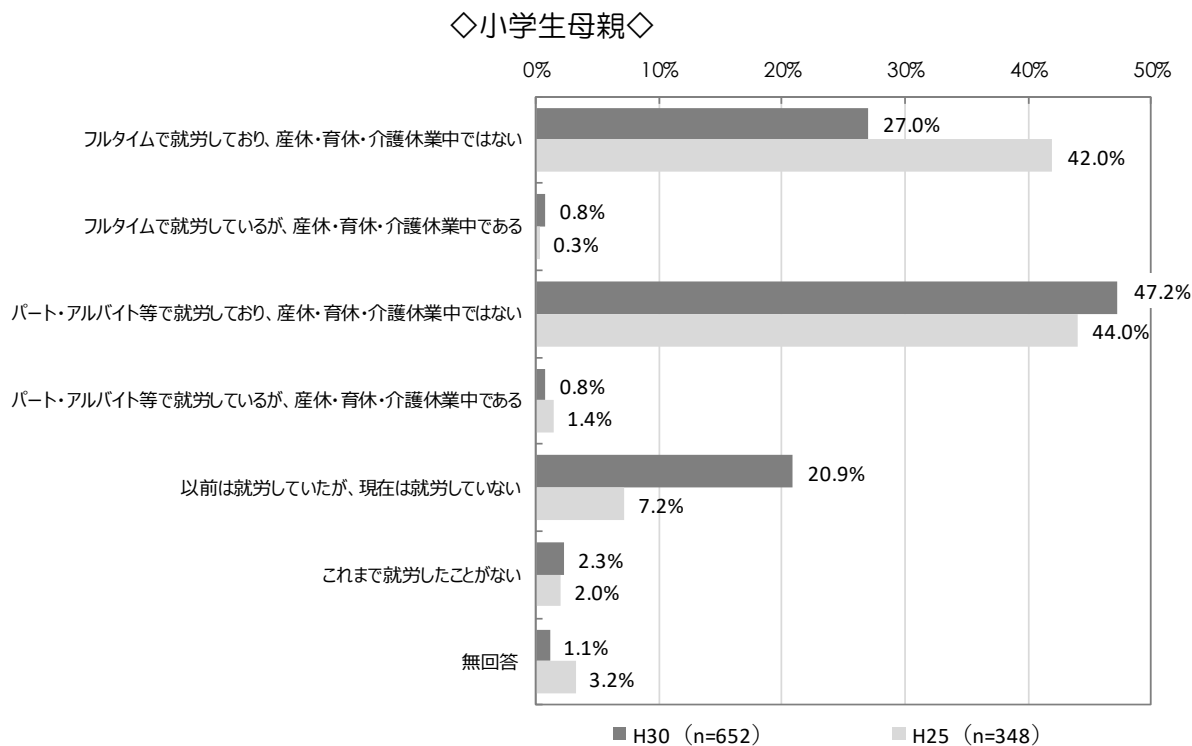
前回調査と比較すると、就労している人は 2.3 ポイントの増加に留まりますが、フルタイムで働いている人だけでみると、3.2 ポイント増加しています。

◇就学前母親◇



小学生の母親の就労状況については、産休中なども合わせた「フルタイムで就労」が 27.8%、「パート・アルバイト等で就労」が 48.0%で、合わせると就労している人は 75.8%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」を合わせると 23.2%となっています。

前回調査と比較すると、就労している人は 11.9 ポイント減少しており、特にフルタイムで働いている人だけでみると、14.5 ポイントの減少となっています。



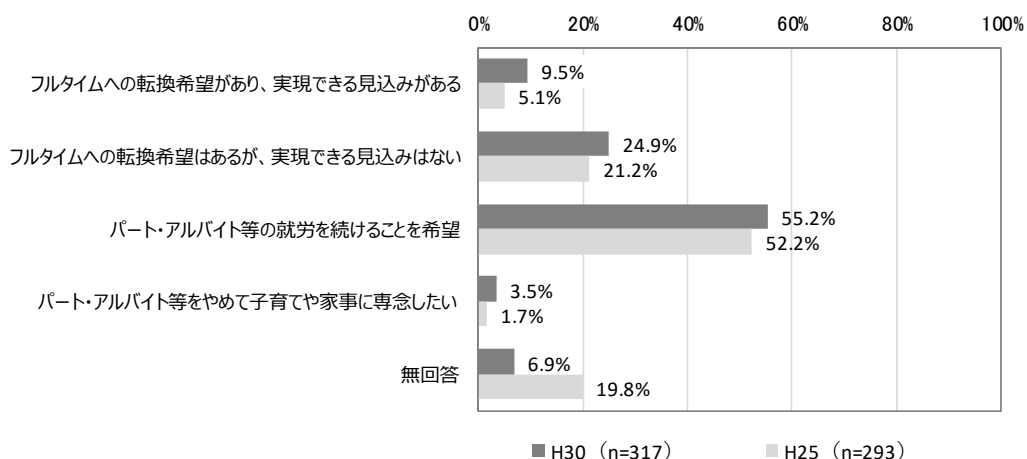
② 母親のパートやアルバイトからのフルタイムへの転換希望の状況（SA）

【就学前：問 12(1)-3、小学生：問 12(1)-3】

就学前の母親のパートやアルバイトからのフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が55.2%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が24.9%となっています。

前回調査と比較すると、フルタイムへの転換希望がある人の全体の割合が 8.1 ポイント増加しています。

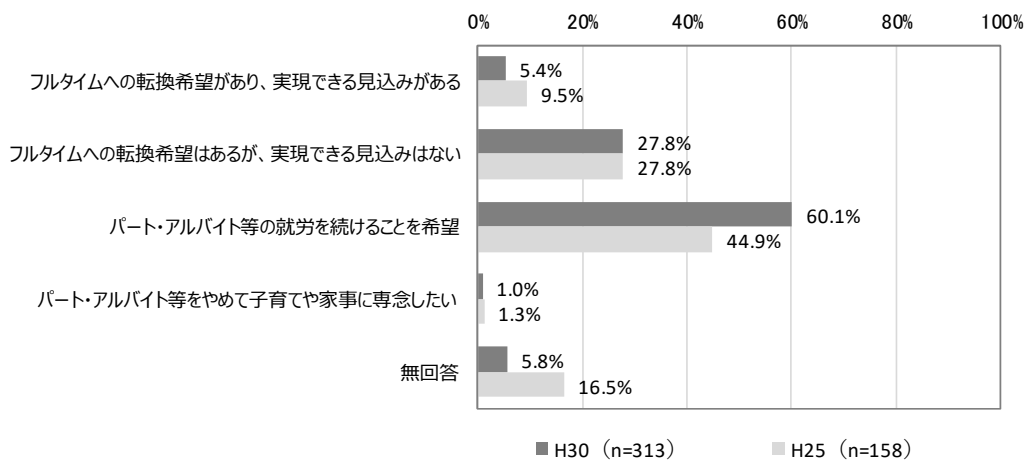
◇就学前母親◇



小学生の母親のパートやアルバイトからのフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.1%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が27.8%となっています。

前回調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 15.2 ポイント増加し、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 4.1 ポイント減少しています。

◇小学生母親◇

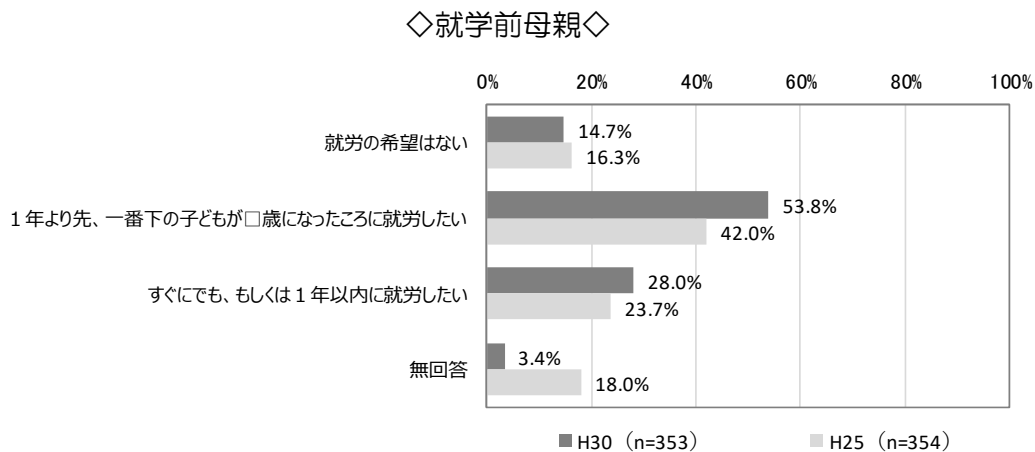


③ 母親の就労したいという希望の状況（SA）

【就学前：問 12(1)-4、小学生：問 12(1)-4】

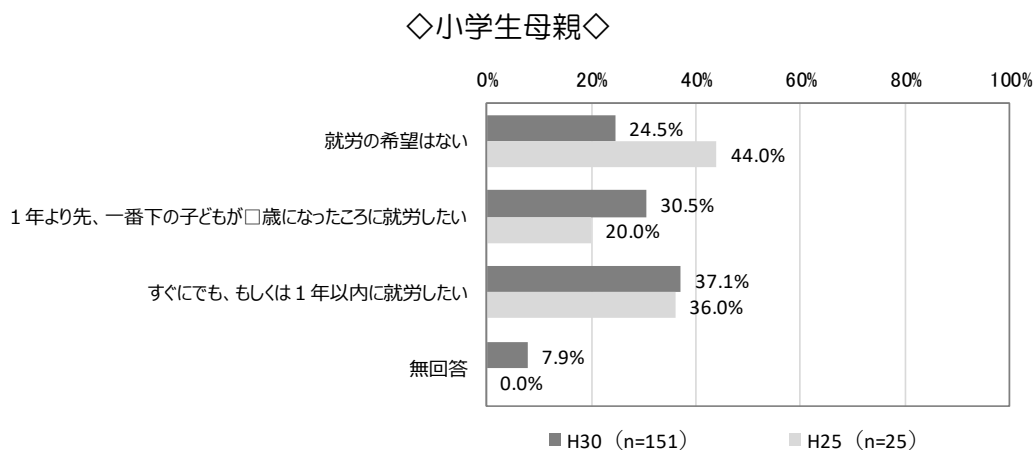
現在就労していない就学前の母親の就労希望は、「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が 53.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 28.0%、となっています。

前回と比較すると、「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が 11.8 ポイント増加し、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」も 4.3 ポイント増加しています。



現在就労していない小学生の母親については、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 37.1%で最も高く、次いで「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が 30.5%となっています。

前回と比較すると、「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が 10.5 ポイント増加し、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が、19.5 ポイント減少しています。

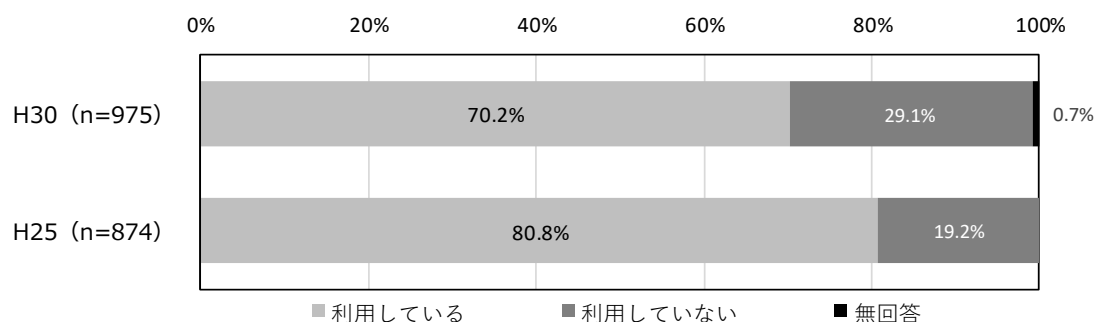


(4) 平日の定期的な教育・保育事業について

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 (SA)

【就学前：問 13】

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が70.2%、「利用していない」が29.1%で、前回調査と比較して「利用している」は、約10ポイント減少しています。

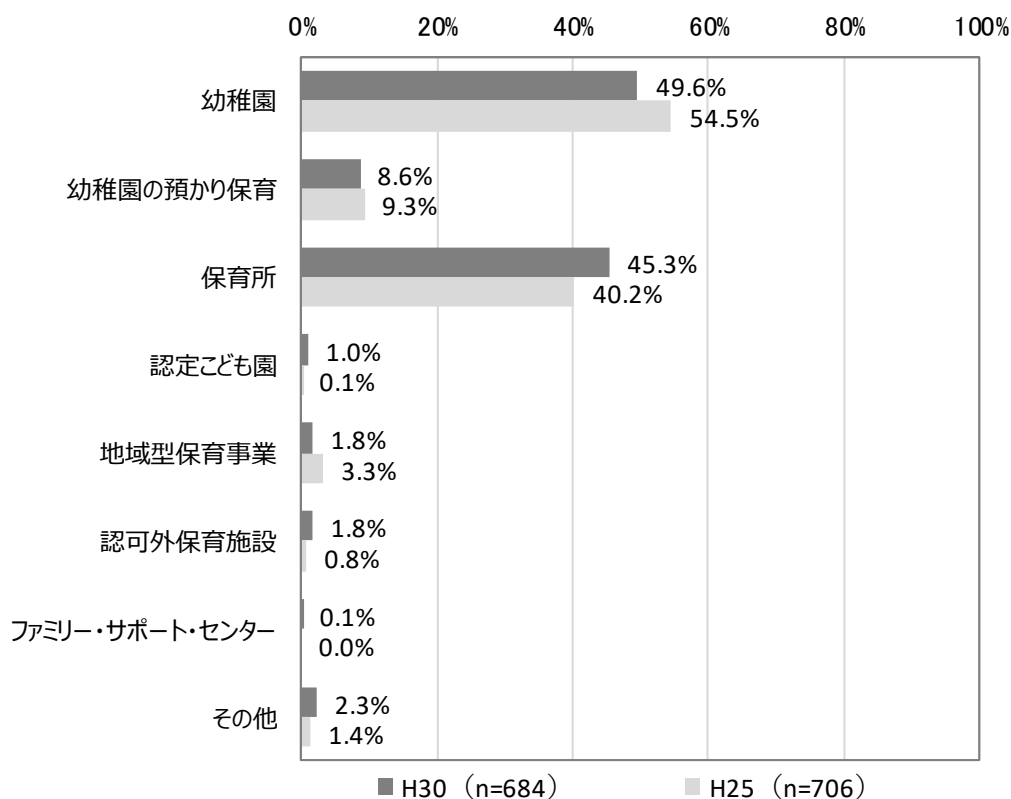


② 現在利用している平日の定期的な教育・保育事業 (MA)

【就学前：問 13-1】

現在利用している平日の定期的な教育・保育事業では、「幼稚園」が49.6%で最も高く、次いで「保育所」が45.3%、次いで、「幼稚園の預かり保育」が8.6%となっています。

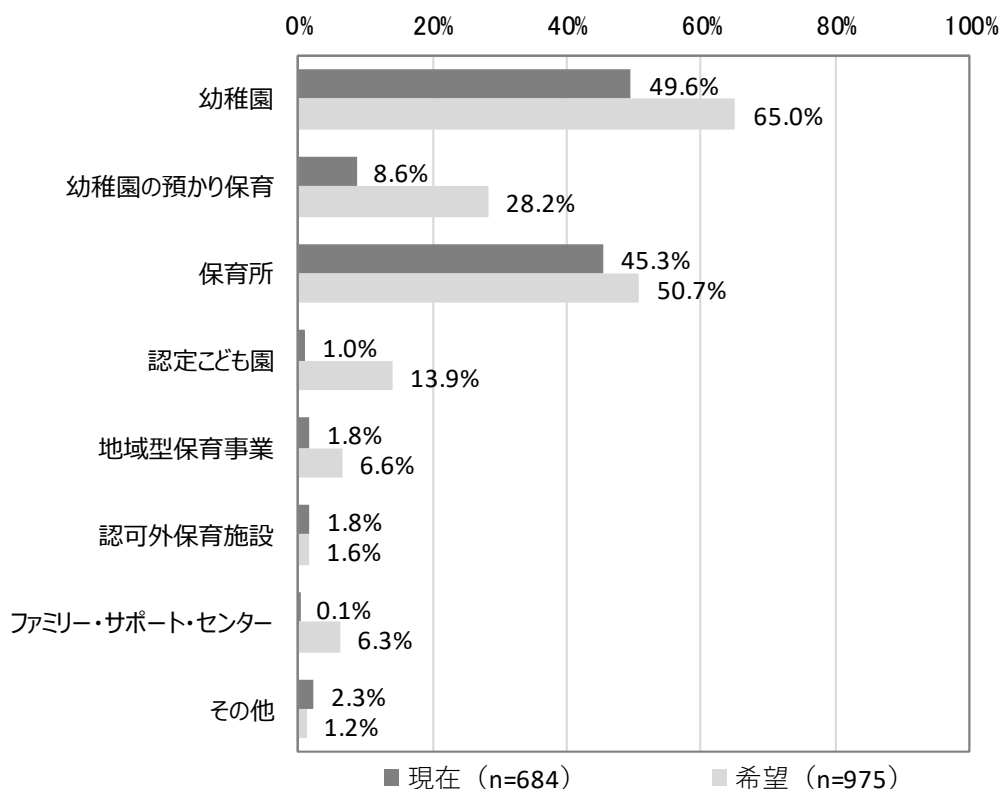
前回調査と比較すると、「幼稚園」が4.9ポイント減少し、「保育所」が5.1ポイント増加しています。



③ 今後利用を希望する平日の定期的な教育・保育事業（MA）

【就学前：問 14】

今後利用を希望する平日の定期的な教育・保育事業では、「幼稚園」が 65.0%で最も高く、次いで「保育所」が 50.7%、「幼稚園の預かり保育」が 28.2%となっています。また、「認定こども園」は現在の利用は 1.0%ですが、希望は 13.9%と大きくなっています。



（５）地域における子育て支援事業の利用状況について

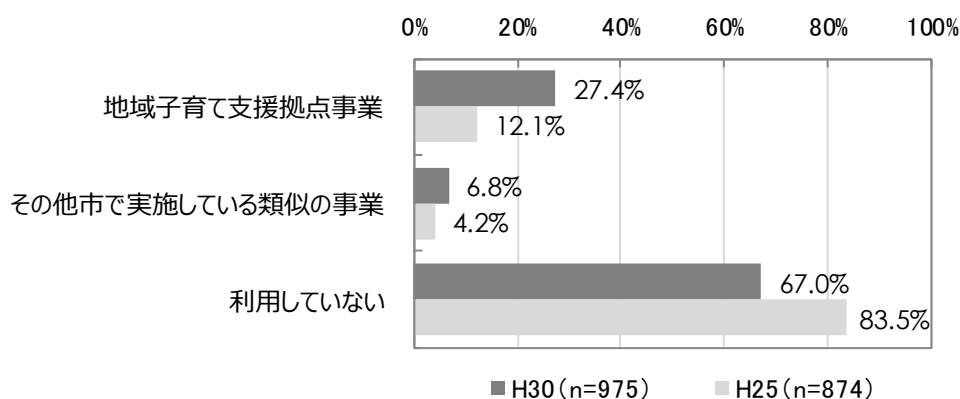
① 地域の子育て支援事業の利用状況（MA）

【就学前：問 15】

地域の子育て支援事業の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業」が 27.4%に対し、「利用していない」は 67.0%と高くなっています。

前回調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業」が 15.3 ポイント増加し、「利用していない」は 16.5 ポイント減少しています。

◇就学前保護者◇

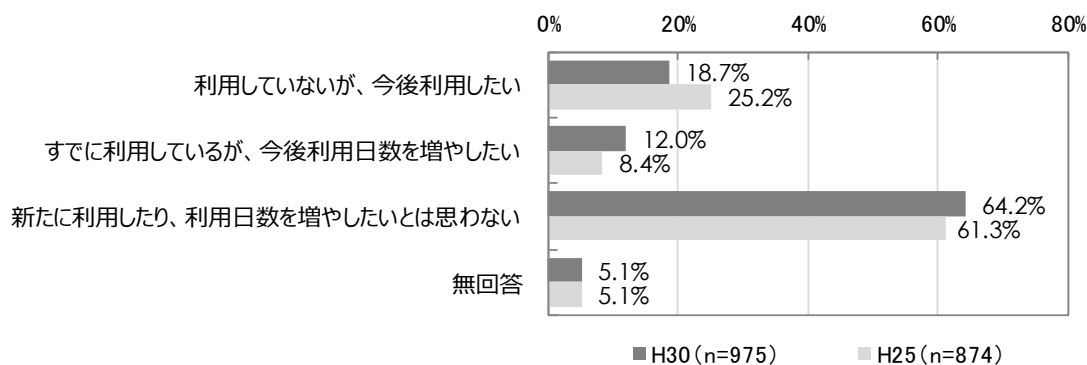


② 地域の子育て支援事業の今後の利用希望（SA）

【就学前：問 16】

地域の子育て支援事業の今後の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 64.2%と最も高くなっていますが、「利用していないが、今後利用したい」が 18.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 12.0%あり、今後の利用の増加が予測されます。

前回調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」が 6.5 ポイント減少している一方、「既に利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 3.6 ポイント増加しています。

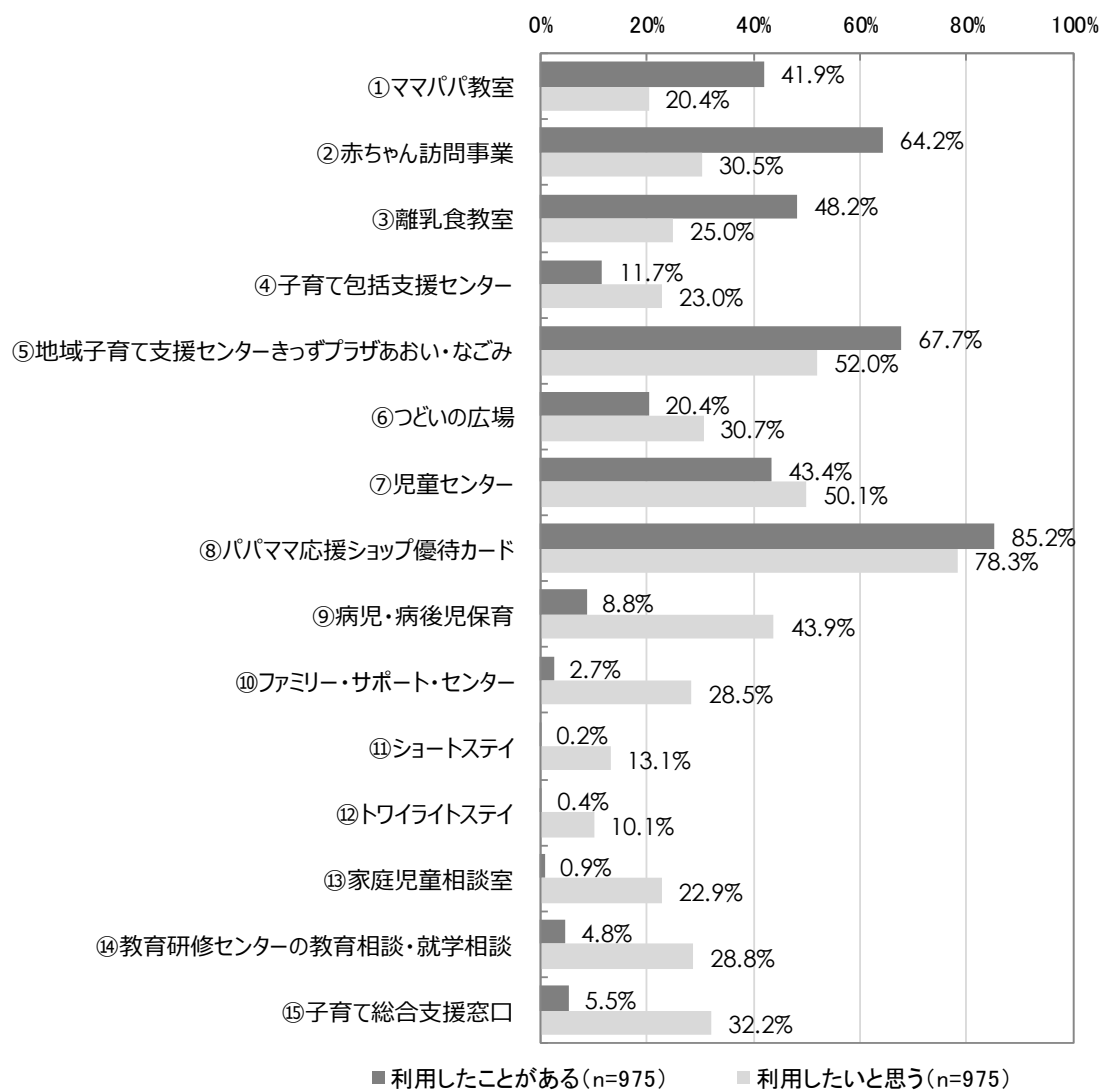


③ 市の子育て支援事業の利用状況と今後の利用意向（SA）

【就学前：問 18】

市での保育事業で、これまでに利用したことがある割合が高いのは、「パパママ応援ショップ優待カード」が 85.2%、「地域子育て支援センターきっずプラザあおい・なごみ」が 67.7%、「赤ちゃん訪問事業」が 64.2%などとなっています。

今後利用したいものでは、「パパママ応援ショップ優待カード」が 78.3%、「地域子育て支援センターきっずプラザあおい・なごみ」が 52.0%、「児童センター」が 50.1%、「病児・病後児保育」が 43.9%などとなっています。



（６）土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の教育・保育事業の利用について

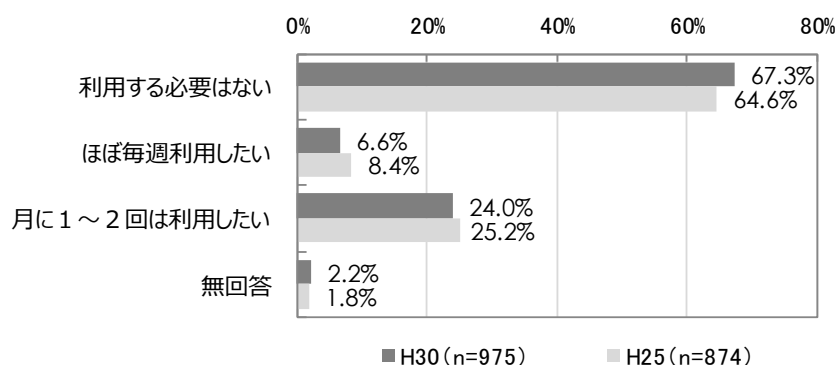
① 土曜日、日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望（SA）

【就学前：問 19】

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が 67.3%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 24.0%、「ほぼ毎週利用したい」が 6.6%となっています。

前回調査とは大きな違いはありません。

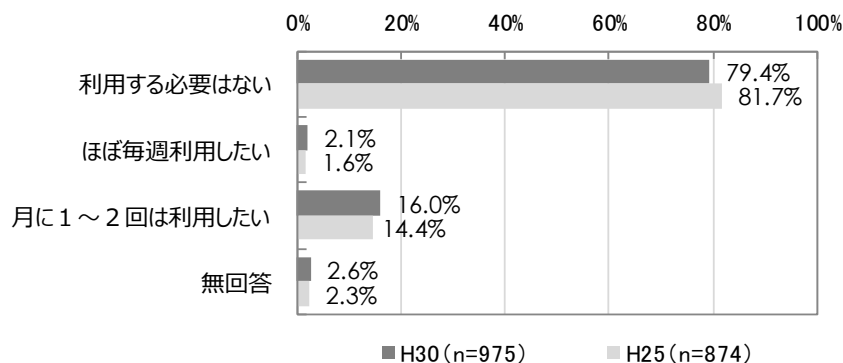
◇土曜日◇



日曜・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が 79.4%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 16.0%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.1%となっています。

前回調査とは大きな違いはありません。

◇日曜日◇

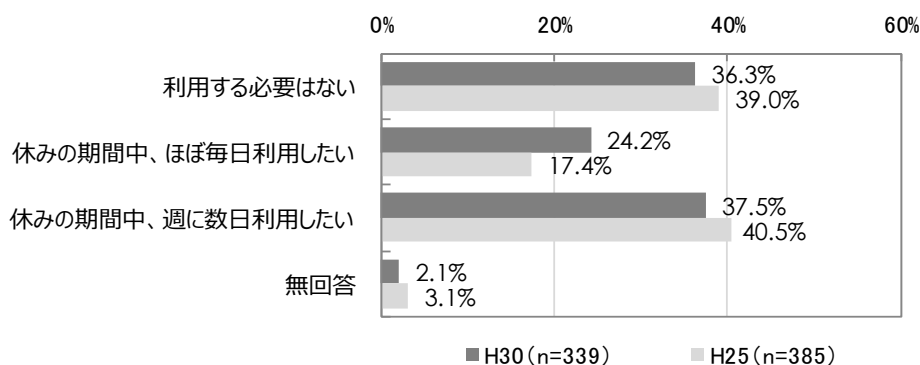


② 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（SA）

【就学前：問 20（幼稚園を利用している方）】

長期の休暇期間中の教育・保育の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 37.5%、「利用する必要はない」が 36.3%となっています。

前回調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 6.8 ポイント増加しています。



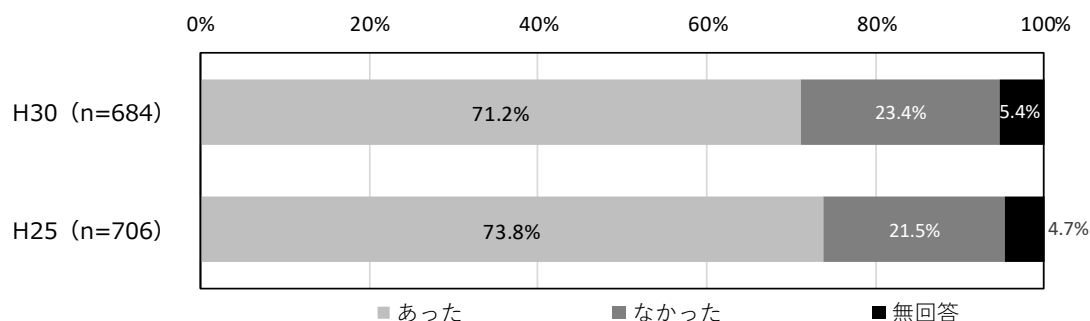
(7) 病気の際の対応について

① 病気の際の対応 (SA)

【就学前：問 21】

就学前児童で、この1年間に病気やケガで通常の平日の教育・保育の事業が利用できないことが「あった」は71.2%、「なかった」は23.4%となっています。

前回調査と比較すると「あった」がやや減少し、「なかった」がやや増加しています。

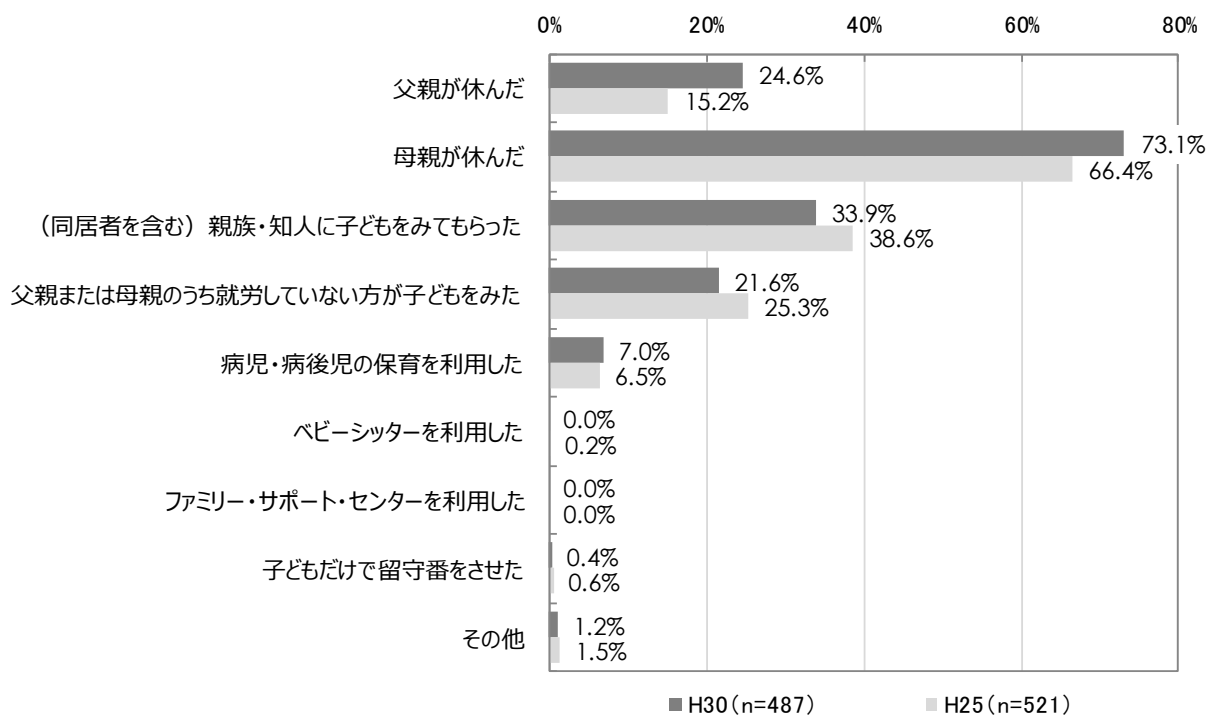


①-1 病気の際の対応方法 (MA)

【就学前：問 21-1】

病気やケガで、就学前児童が平日の教育・保育の事業が利用できなかった時の対処方法については、「母親が休んだ」が73.1%で最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった」が33.9%、「父親が休んだ」が24.6%となっています。

前回調査と比較すると、「父親が休んだ」が9.4ポイントの増加、「母親が休んだ」が6.7ポイントの増加と、増加の幅では「父親が休んだ」が大きくなっています。



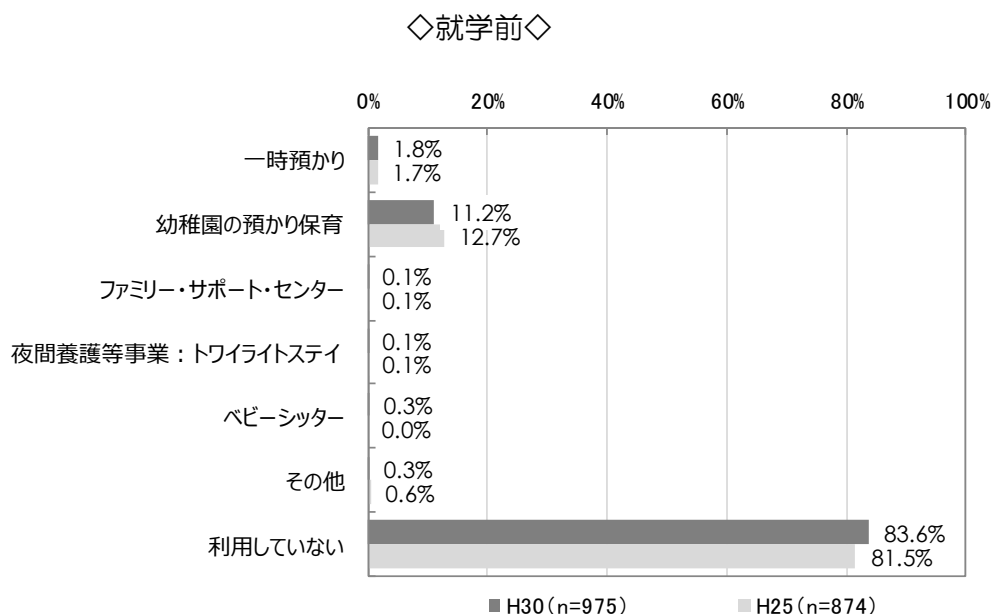
(8) 不定期の教育・保育事業の利用について

① 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用 (MA)

【就学前：問 22 小学生：問 13】

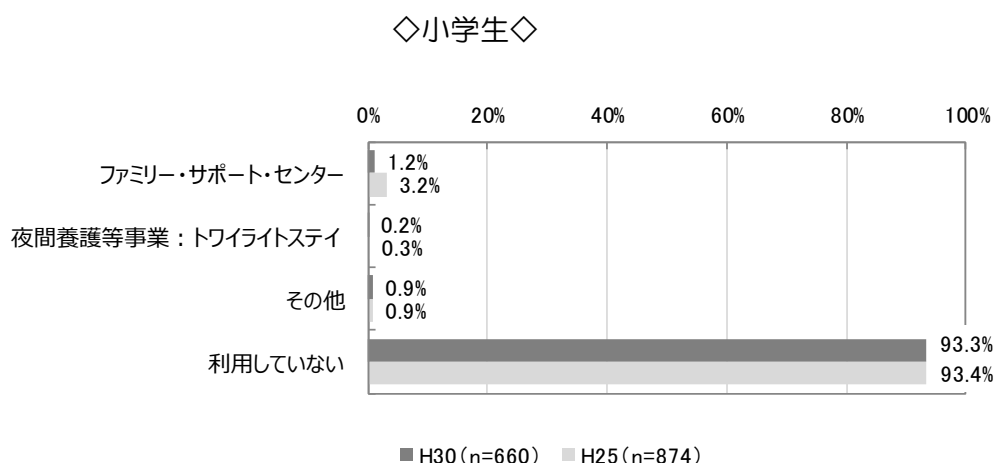
就学前の保護者が、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が 83.6%で、利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」が 11.2%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」が 2.1 ポイント増加しています。



小学生の保護者が、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が 93.3%です。

前回調査でも「利用していない」は 93.4%とほぼ同じ結果でした。

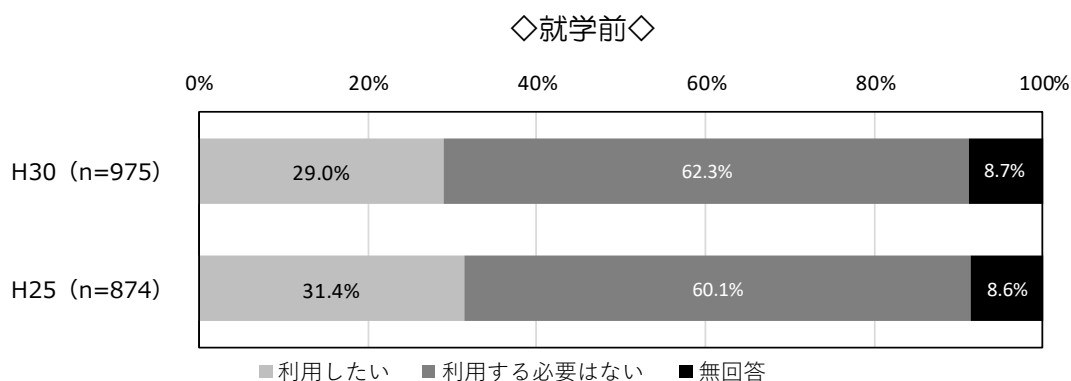


② 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用希望（SA）と理由（MA）

【就学前：問 23 小学生：問 14】

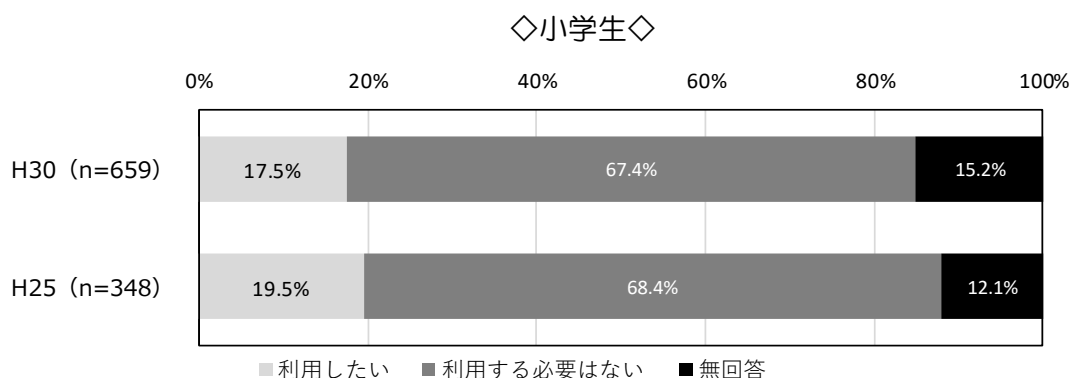
就学前の保護者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業を利用希望については、「利用する必要はない」が 62.3%、「利用したい」が 29.0%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」が 2.4 ポイント減少しています。



小学生の保護者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業を利用希望については、「利用する必要はない」が 67.4%、「利用したい」が 17.5%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」が 2.0 ポイント減少しています。



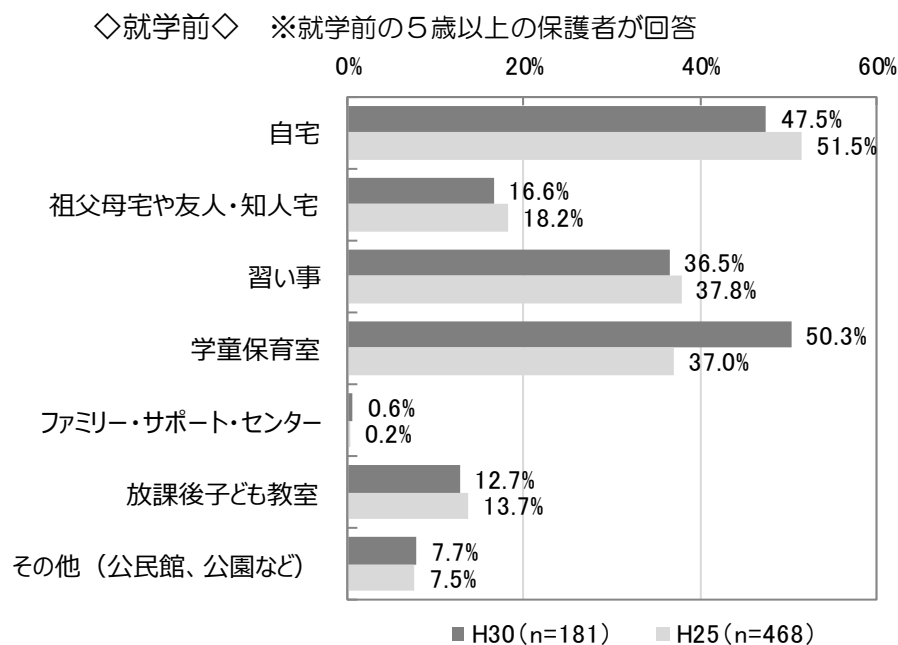
（９）放課後の過ごし方について

①-1 小学校入学後、低学年（１～３年）の放課後の過ごし方（MA）

【就学前：問 25 小学生：問 17】

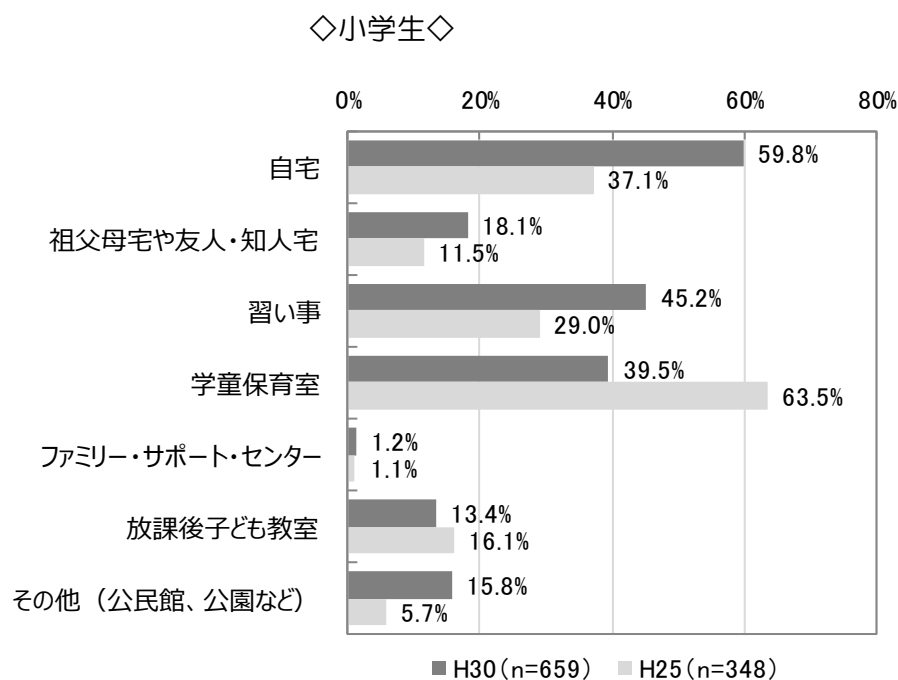
就学前の保護者の小学校低学年（１～３年）の過ごし方では、「学童保育室」が 50.3%で最も高く、次いで「自宅」が 47.5%、「習い事」が 36.5%となっています。

前回調査と比較すると、「学童保育室」が 13.3 ポイント増加した以外はいずれも減少しています。



小学生の保護者の小学校低学年（１～３年）の過ごし方では、「自宅」が 59.8%で最も高く、次いで「習い事」が 45.2%、「学童保育室」が 39.5%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」が 22.7 ポイント、「習い事」が 16.2 ポイントそれぞれ増加し、「学童保育室」は 24.0 ポイントと大幅に減少しています。



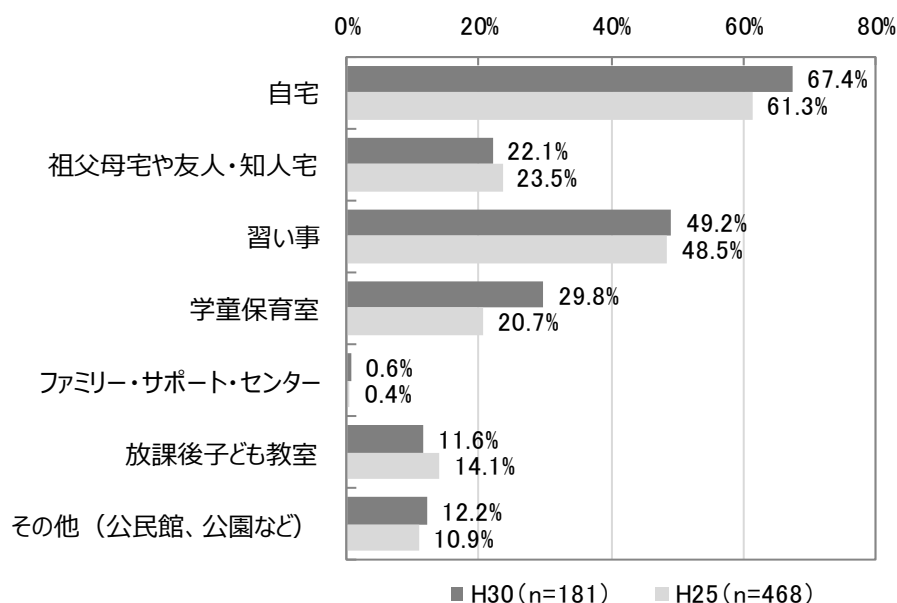
①-2 小学校入学後、高学年（４～６年）の放課後の過ごし方（MA）

【就学前：問 26 小学生：問 18】

就学前の保護者の小学校高学年（４～６年）の過ごし方では、「自宅」が 67.4%で最も高く、次いで「習い事」が 49.2%、「学童保育室」が 29.8%となっています。

前回調査と比較すると、「学童保育室」が 9.1 ポイント、「自宅」が 6.1 ポイントそれぞれ増加しました。

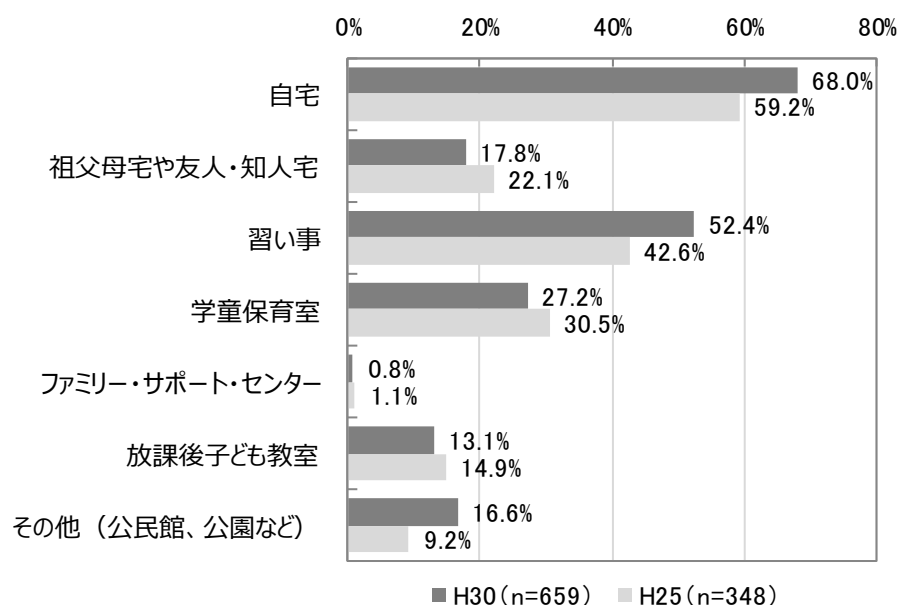
◇就学前◇ ※就学前の５歳以上の保護者が回答



小学生の保護者の小学校高学年（４～６年）の過ごし方では、「自宅」が 68.0%で最も高く、次いで「習い事」が 52.4%、「学童保育室」が 27.2%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」が 8.8 ポイント、「習い事」が 9.8 ポイントそれぞれ増加し、「学童保育室」は 3.3 ポイント減少しています。

◇小学生◇



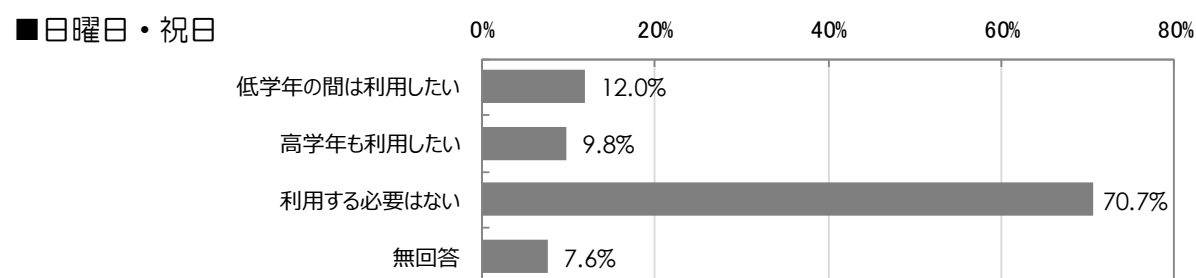
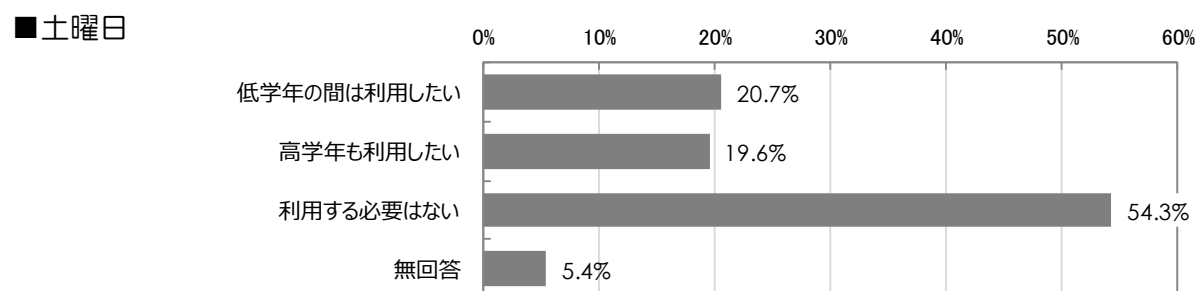
④ 土曜日と日曜日・祝日の学童保育室の利用希望（SA）

【就学前：問 27、小学生：問 19】

就学前の保護者の土曜日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が 54.3%と高く、「低学年の間は利用したい」と「高学年も利用したい」は 2 割前後です。

日曜・祝日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が 70.7%と最も高く、「低学年の間は利用したい」と「高学年も利用したい」は 10%前後です。

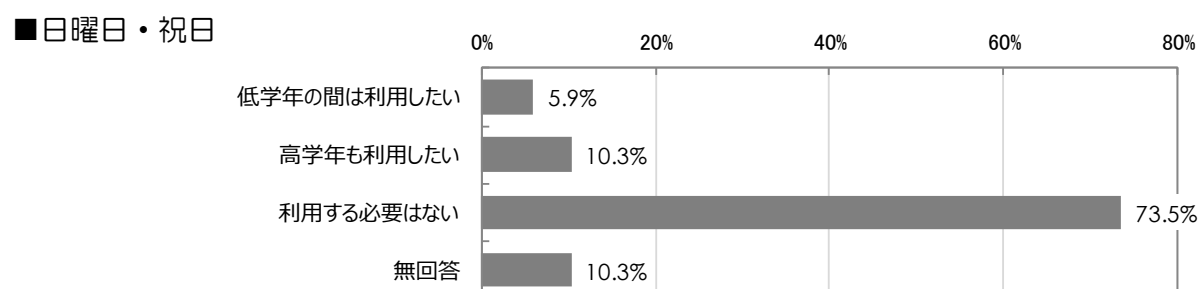
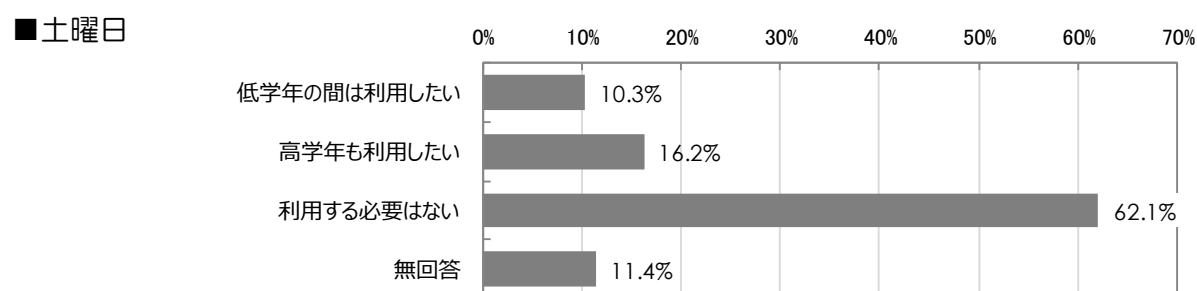
◇就学前（n=92）◇ ※就学前の5歳以上の保護者が回答



小学年の保護者の土曜日の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が 62.1%と最も高く、「高学年も利用したい」が 16.2%、「低学年の間は利用したい」が 10.3%となっています。

日曜・祝日の学童保育室の利用希望では、「利用する必要はない」が 73.5%と最も高く、「高学年も利用したい」が 10.3%、「低学年の間は利用したい」は 5.9%となっています。

◇小学生（n=272）◇



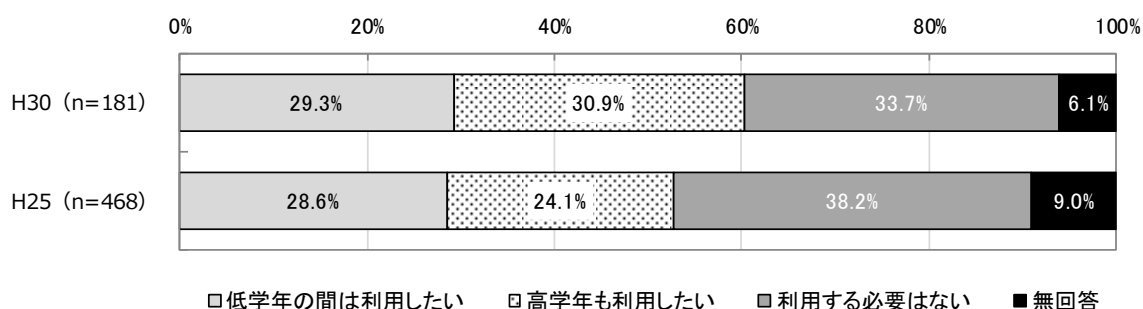
① 長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望（SA）

【就学前：問 28、小学生：問 20】

就学前の保護者の長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が 33.7%、「高学年も利用したい」が 30.9%、「低学年の間は利用したい」は 29.3%です。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が 4.5 ポイント減少し、「高学年も利用したい」が 6.8 ポイント増加しています。

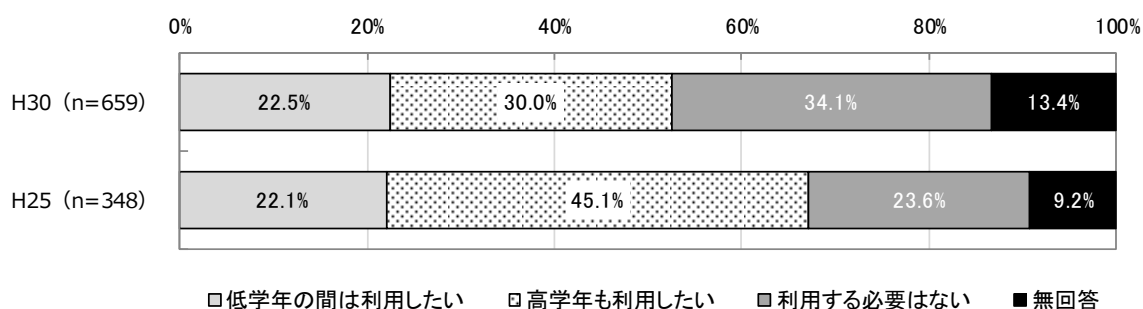
◇就学前◇ ※就学前の5歳以上の保護者が回答



小学生の保護者の長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が 34.1%と高く、「高学年も利用したい」は 30.0%、「低学年の間は利用したい」は 22.5%です。

前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が 10.5 ポイント増加し、「高学年も利用したい」が 15.1 ポイント減少しています。「低学年の間は利用したい」はほぼ同じでした。

◇小学生◇



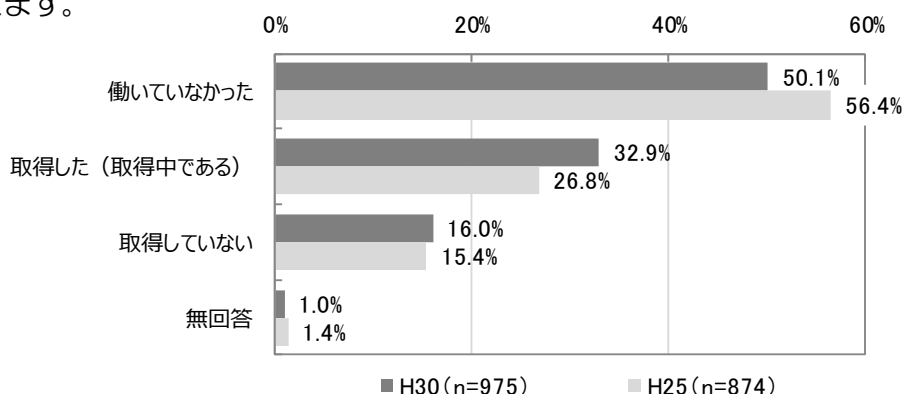
(10) 職場の両立支援制度について

① 育児休業の取得について (SA)

【就学前：問 30】

就学前の母親の育児休業の取得については、「働いていなかった」が 50.1%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が 32.9%、「取得していない」が 16.0%となっています。

前回調査と比較すると、「働いていなかった」が 6.3 ポイント減少し、「取得した（取得中である）」が 6.1 ポイント増加しています。前回調査では、「取得した」は「取得していない」の 1.74 倍であったのに対し、今回の調査では 2.06 倍となっており、働いている人の中で育児休業を取得する人の割合は上昇していることが伺えます。



(11) 児童虐待について

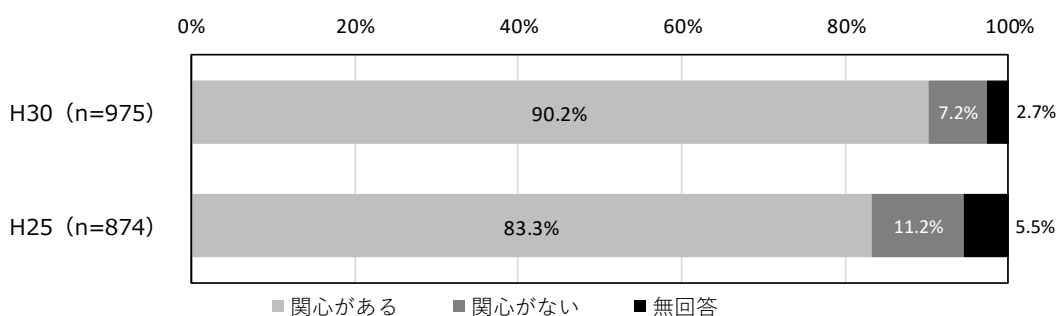
① 児童虐待に関心があるか (SA)

【就学前：問 32、小学生：問 21】

就学前の保護者の児童虐待への関心については、「関心がある」が 90.2%、「関心がない」が 7.2%となっています。

前回調査と比較すると、「関心がある」が約 7 ポイント増加しています。

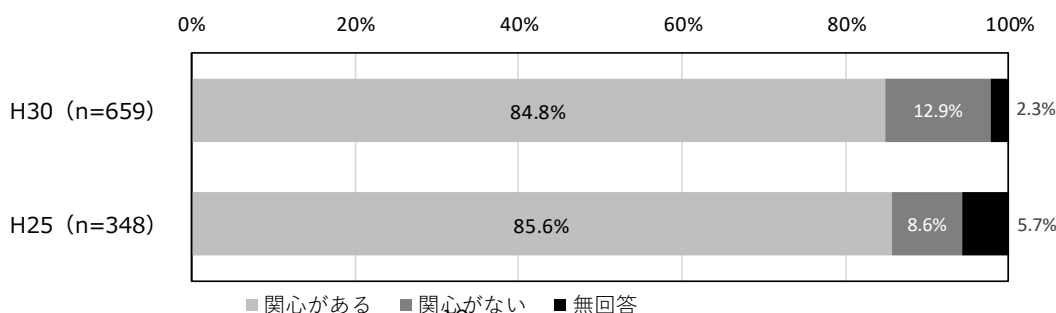
◇就学前◇



小学生の保護者の児童虐待への関心については、「関心がある」が 84.8%、「関心がない」が 12.9%となっています。

前回調査と比較すると、「関心がない」が 4.3 ポイント増加しており、関心が後退していることが懸念されます。

◇小学生◇

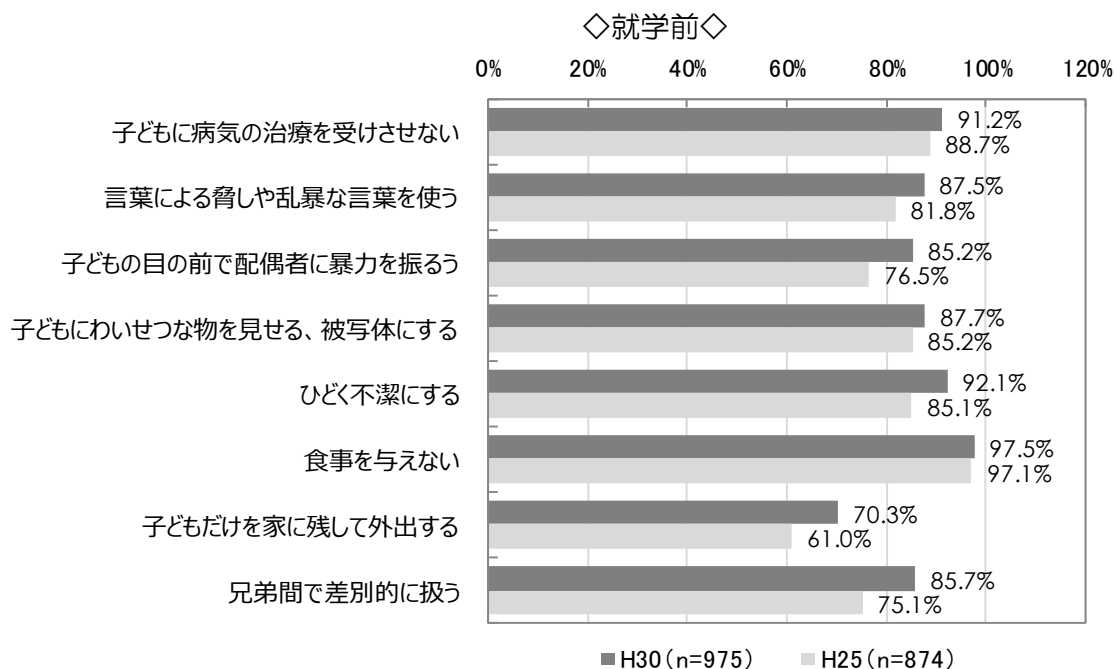


② 児童虐待とを感じるもの（MA）

【就学前：問 32-1、小学生：問 21-2】

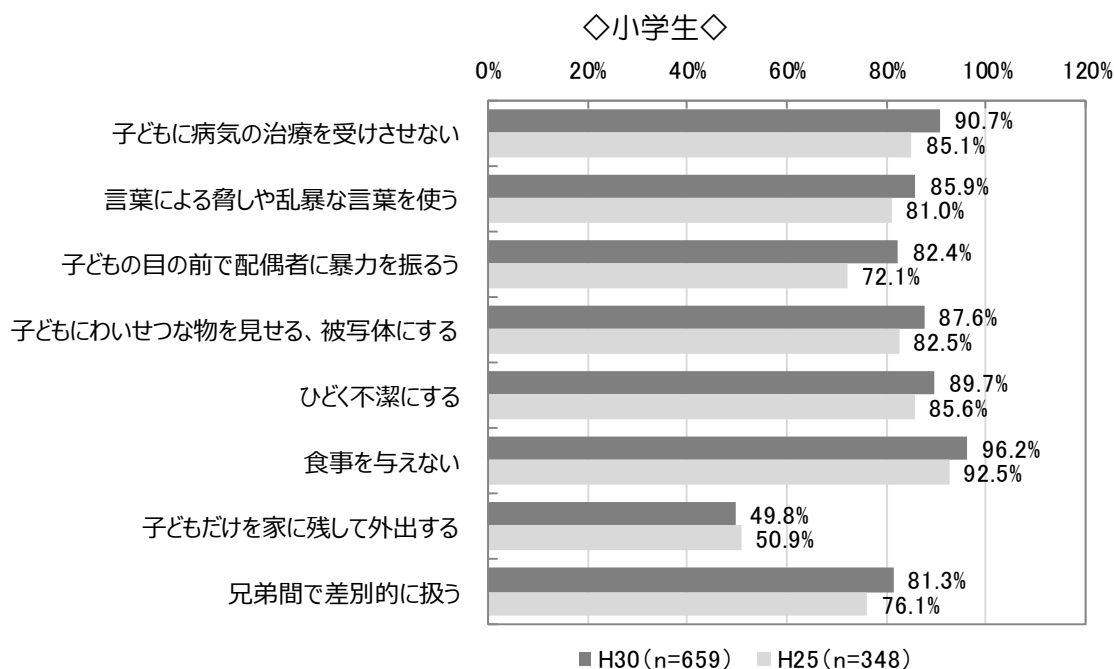
就学前の保護者が児童虐待とを感じるものについては、「食事を与えない」、「ひどく不潔にする」、「子どもに病気の治療を受けさせない」が 9 割を超えて高くなっています。

前回調査と比較すると、全ての項目で感じる割合は高くなっており、特に「兄弟間で差別的に扱う」は 10.6 ポイント、「子どもだけを家に残して外出する」は 9.3 ポイント、「子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう」は 8.7 ポイントと大きな増加となっています。



小学生の保護者が児童虐待とを感じるものについては、「食事を与えない」、「子どもに病気の治療を受けさせない」が 9 割を超えて高くなっています。

前回調査と比較すると、「子どもだけを家に残して外出する」を除いた全ての項目で感じる割合は高くなっており、特に「子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう」は 10.3 ポイントと大きな増加となっています。

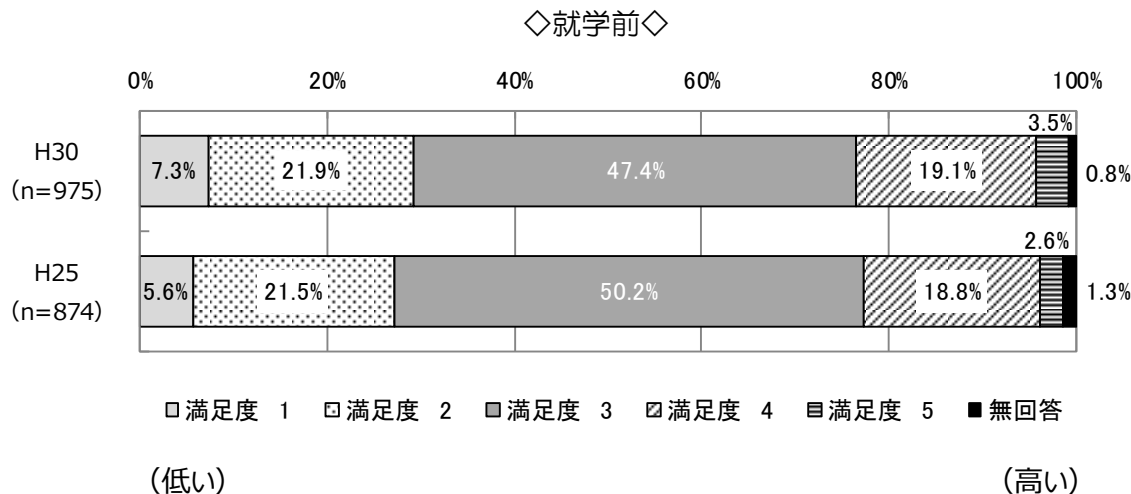


③ 住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度（SA）

【就学前：問 33、小学生：問 22】

就学前の保護者の満足度については、「満足度 3」が 47.4%と最も高く、次いで「満足度 2」が 21.7%、「満足度 4」が 19.1%となっています。

前回調査と比較すると、「満足度 3」が 2.8 ポイント減少し、満足度の低い側（「満足度 1」と「満足度 2」の合計）が 2.1 ポイント増加、満足度の高い側（「満足度 4」と「満足度 5」の合計）が 1.2 ポイント増加となっています。



小学生の保護者の満足度については、「満足度 3」が 51.7%と最も高く、次いで「満足度 4」が 20.5%、「満足度 2」が 18.5%となっています。

前回調査と比較すると、「満足度 3」が 3.4 ポイント増加し、満足度の高い側（「満足度 4」と「満足度 5」の合計）が 2.2 ポイント増加となっています。

